

青森市匠の職人（平成20年度受賞）

棟方定正（ガラス製品成形工）

むなかた さだまさ

「鍛え抜かれた匠の技」



主な受賞歴 '90年 東北ガラスアート展優秀賞受賞
'02年 青森県伝統工芸士認定
'13年 青森県卓越技能者表彰受賞
問い合わせ先 北洋硝子株式会社
〒038-0004
青森市富田4丁目29番13号
TEL 017-782-5183
FAX 017-782-4899
<http://www.tugaruvidro.jp/>

【取材レポート】
1千500度の高温で真っ赤に溶けたガラスは、素早く吹き棒に巻き取られ、職人に息を吹き込まれることによって豊かな形と色合いを持つ「津軽びいどろ」に姿を変えます。昭和37年に北洋硝子（株）に入社し、津軽びいどろの職人となった棟方さんは、赤やオレンジを使った水盤（底の浅い平らな陶製の花器）などの大物を得意とし、平成2年の東北ガラスアート展での優秀賞受賞をはじめ、数多くの賞を受賞し、平成14年に青森県伝統工芸士に認定されました。
八甲田山や津軽海峡など地元の風景をイメージした棟方さんの作品は、重くて大きいのが特徴で、とても迫力があります。「大物は作り甲斐があるし、より作品に心がこもります。だからこそ、自分のイメージどおりの作品ができたときは感無量です。」と棟方さん。
とても温かな人柄ですが、作業に入るとその様相は一変。目つきは厳しく、真剣な眼差しとなります。
大物を軽々と持ち上げ宙吹き制作に取り組む棟方さんの姿に、鍛え抜かれた「匠の技」の力強さを感じます。



棟方さんが得意とする「水盤」